

## News Release

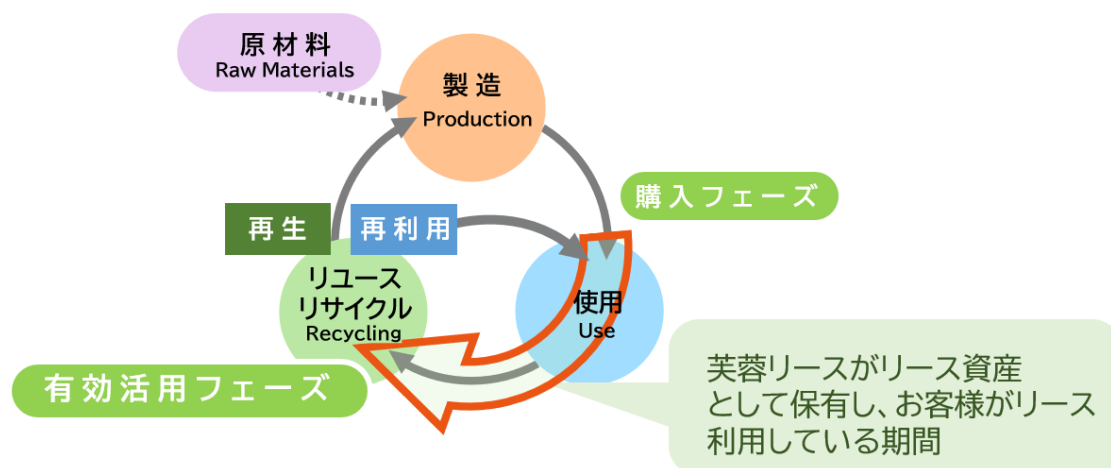
芙蓉総合リース株式会社  
(コード番号 8424 東証プライム)  
代表取締役社長 織田 寛明

### 「サーキュラーエコノミーリース」の普及推進を目的とした業務提携契約を締結 ～全国各地を拠点とするリース会社6社と業務提携～

芙蓉総合リース株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）は、JR九州FGリース株式会社（福岡県福岡市、代表取締役社長 大仁田尚）、四銀総合リース株式会社（高知県高知市、代表取締役社長 黒下則之）、千葉総合リース株式会社（千葉県千葉市、代表取締役社長 京増好一）、中道リース株式会社（北海道札幌市、代表取締役社長 関崇博）、肥銀リース株式会社（熊本県熊本市、代表取締役社長 最上剛）、フィデアリース株式会社（山形県山形市、代表取締役社長 高橋均）と、「サーキュラーエコノミーリース（CEリース）」の推進を目的とした業務提携契約を締結しました。また、ダイレクトワン株式会社（静岡県沼津市、代表取締役社長 安齋善毅）とも、業務提携契約の締結に向け手続きを進めています。

CEリースとは、残価設定やリース満了時の物件返却条項の設定によりリース物件を確実にリユース、リサイクルし、製品寿命の長期化・資源再生の向上を図るリース商品として本年3月より提供を開始しました。また、CEリース取扱額の一定割合をサーキュラーエコノミー推進諸団体に寄付し、その活動を支援することでサーキュラーエコノミーの普及促進に貢献しています。

#### ◆サーキュラーエコノミーリースの概念図



地域に根差したネットワークを有し、地域社会への貢献を目指す全国のリース会社との業務提携を進めることで、提携先と共に循環型社会の実現を目指します。各提携先のお客様に対しても、CEリースを通じて簡易にサーキュラーエコノミーに参加いただける機会を提供することで、全国規模でサーキュラーエコノミーの普及を後押ししてまいります。

#### ◆提携リース会社のネットワーク



芙蓉リースグループは、2022年度からスタートした中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、CSV（Creating Shared Value：共有価値の創造）の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとして持続的な成長を目指しております。

リース事業で培った「モノのリユース・リサイクル」に関するノウハウと知見を活かし、サーキュラーエコノミーのインフラ・ネットワークをエコシステムにまで高め、サーキュラーエコノミーの“プラットフォーム”を目指してまいります。

#### <関連プレスリリース>

お客様のサーキュラーエコノミーへの参加・貢献を可能にする日本初の「サーキュラーエコノミーリース」のリリース、及びシンジケーション方式DB J-対話型サステナビリティ・リンク・ローンの実行（2023.3.31）

<https://ssl4.eir-parts.net/doc/8424/tdnet/2257263/00.pdf>

※冒頭の提携先社名は五十音順に記載しております。

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室（担当）山崎・渡邊

電話番号 03 (5275) 8891 URL : <https://www.fgl.co.jp/>